

日本JCの公開討論会のポイント

1. 公開討論会 意義・目的

- ・ 政策主導型政治の実現
- ・ 投票率向上
- ・ 公職選挙法の改正
- ・ 様々な政治改革の突破口
- ・ 政策で選ばれた政治家の選出(マニフェスト)
- ・ 諦め意識、無関心の打破 民意の反映
- ・ 目的達成のための制度改革

2. 現状強調されるべきポイント

- ・ 低投票率容認の現状
評論家ならまだしも、政党自体が利害の思惑で望んでいる風潮がある
- ・ 争点の80%が市町村合併といわれるアンケート結果
市町村合併の重要な側面として自立した地域
自立した地域の確立は、自立した市民による確立(住民の視点)
その市民の参加なくして選ばれるリーダーへの危惧
- ・ 若者の政治参加
支援者の前だけでの訴え。旧態依然とした政見放送等での訴え。

3. 青年会議所の実践者としての意義、課題

- ・ 公平中立である
公益社団法人としての立場(特定の政治家や政党の支援は×)
- ・ 街頭での呼びかけ
自らが行動を
- ・ 無風選挙区(特に2名の候補者)での無関心層の打破
本命候補の討論会の参加意識欠如
- ・ JCの組織上の可能性
744のエリア(国土の90%以上を網羅)
5万人の会員(OB含めると20万人以上の組織)
- ・ 実践者ゆえに信憑性をもって訴えることが出来る公職選挙法の改正
他の制度改革として、憲法、教育基本法、道州制、税制、特区制度